

令和4年度 自己評価・学校関係者評価

【生徒支援部】

岐阜県立恵那南高等学校 学校番号 50

I 自己評価

1 学校教育目標	社会的・職業的自立に向けた基礎となる資質や能力を培い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな地域社会人を育成します。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	<ul style="list-style-type: none"> 自己の適性を理解し、自らの将来をデザインし、自己実現に向けて自発的に行動できる生徒 多様な人々と協調性をもって豊かな人間関係を築き、他者と協力して課題解決に取り組める生徒 地域との関わりを大切にし、地域の課題を発見し、地域の持続的な発展に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の個性や能力を开花させ、将来の進路目標を実現するためのカリキュラムの編成とICT活用などによる分かりやすく個に応じた指導の実施 「探究的な学び」や教科学習、対話的な学びによる、コミュニケーション能力と自己表現力の育成 長く広い視野で自分の住む地域のことを考える心を育む教育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動、部活動、生徒会活動などを通じて、自らの可能性に挑戦したい生徒 人との関わりやつながりを大切にし、仲間と協力しながら主体的に学びたい生徒 地域活動やボランティア活動などに主体的に参加し、地域社会で活躍したいという意欲のある生徒

3 評価する領域・分野	◇生徒指導・教育相談・特別活動		
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>○学校評価アンケート（保護者）【R3→R4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生としてのマナーや規範意識を身に付けさせるための指導をしている。 AB割合 85%→93% CD割合 2%→3% 個々の生徒の相談に丁寧に応じている。 AB割合 83%→84% CD割合 3%→5% いじめや差別を許さず、厳しく対応している。 AB割合 73%→74% CD割合 3%→5% <p>○学校評価アンケート（生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間としての基本的モラルやマナーを身に付けさせようと努めている。 AB割合 91%→94% CD割合 2%→4% いじめや差別を許さず、厳しく対応している。 AB割合 91%→85% CD割合 2%→4% <p>*保護者の評価が上がったが、生徒の評価は若干下がった。今後も生徒とコミュニケーションをとりながら思いを伝えていきたい。</p>		
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や生活態度の育成をはかる。 コミュニケーション能力の育成を図る。 教育相談を充実させ自己肯定感を持たせる支援を積極的に行う。 いじめの早期発見と生徒への援助を行う。 生徒の意見を取り入れた校則の見直しを行う。 生徒会活動の充実、委員会活動の活性化を図る。 		
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 生徒支援部会、教育相談部会等の会議を開催し、職員間の情報共有と連携をはかる。 挨拶、交通安全、校内巡視等への取り組みを全職員で協力して行う。 		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 職員による毎朝の健康チェック (2) 生徒会活動推進、広報活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 定期的な身だしなみ指導の状況 (2) 公共交通機関でのマナーや登下校時のマナー (3) 生徒の感想や意見 		

9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<ul style="list-style-type: none"> 生徒支援部や生徒会を中心に朝の挨拶運動の実施、身だしなみ指導、全職員による昼休み校内巡回指導 交通指導 生徒理解の推進（生徒へのアンケート実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣は定着したか ② 公共マナーは身に付いたか。 ③ 「恕の心」は育成されたか。 ④ 生徒理解はできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
12 成果 ・ 課題	<p>○生徒が多様化する中で、生徒理解に努め「生徒を支援する」体制作りができた。</p> <p>○定期的な身だしなみ指導や毎朝の健康チェック等を通して、生徒たちは落ち着いた学校生活を送ることができている。</p> <p>○いじめの早期発見と迅速な対応ができた。今後も全職員で生徒への援助支援を行っていききたい。</p> <p>○校則の見直しに関しては、今後も見直しを検討していききたい。</p> <p>▲生徒も保護者も多様化する中で、職員数が減少し、雑務等に追われ、生徒を育てるという本来の仕事が年々難しくなっている現状がある。</p> <p>しかし、全職員で生徒や保護者に対して組織的対応ができるよう、情報共有や共通理解をいっそう高めていききたい。</p>	
<p>13 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでと同様、共感的な生徒や保護者の理解に努め、各種の会議、研修、広報活動を通して生徒支援に関する職員の共通理解を高め、実践する。 生徒会活動、委員会活動、部活動、各種行事など、生徒一人ひとりが主体的に活動できる場面を多く設定し、自己肯定感や自己有用感をもたせる指導を全職員で行っていく。 活気あふれる学校を、生徒・教職員等で作っていく。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年1月25日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的モラルやマナーを身に付けさせるための指導について、生徒・保護者双方から高く評価されているので、こうした指導を継続したい。 いじめの早期発見と迅速な対応ができているので、今後も継続してほしい。 地域のボランティアに生徒達が自主的、積極的に参加してくれていることに対し、地域住民として感謝したい。 地域サポーターの方々にも協力してもらい、地域との協力をさらに広げて今後活かしてほしい。 18歳成人となったので、成人としての責任が伴うということも意識して指導して行ってほしい。 生徒会活動、各種ボランティア等、生徒一人一人が活動できる場面を多く設定し、自己肯定感を持たせる指導を継続してほしい。
--